

平成30年度事業報告書 1

〔 自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日 〕

公益財団法人 人工知能研究振興財団

あらゆるものがネットにつながる「IoT」の普及やビッグデータの活用に伴い、人工知能(AI)を必要とする事業は、IT業界にとどまらず様々な分野に広がっています。今後は幅広い人材がAIの基礎知識を持つ必要があります。

政府の統合イノベーション戦略推進会議では、年間25万人のAI人材の育成、全大学生にAI初級教育の実施等を提案しております。こうした中で、当財団が設立当初から実施しています研究助成事業は、今後ますます重要性が増大すると考えられます。

一方、当財団を取り巻く運営環境は、超低金利の中でますます厳しくなることが予測されます。当財団の将来を見据え、あるべき姿について検討及び調整を行ってきましたが、合意形成には至らず今後も継続して検討いたします。

I. 事業の概要

平成30年度の事業計画に基づき、次の事業を行った。

1. 人工知能の研究に対する助成

(1)人工知能研究助成金の交付

① 研究対象分野

- ・人工知能に関する調査、研究及びその利用技術の開発
- ・人工知能関連技術の高度化に関する研究・開発

② 募集期間 平成30年7月1日～平成30年9月30日

③ 審査委員 名古屋大学名誉教授 稲垣 康善 氏 ほか11名

④ 審査委員会 第1回審査委員会 平成30年 4月25日
第2回審査委員会 平成30年10月12日
第3回審査委員会 平成30年11月15日

⑤ 助成金の総額 500万円

内 訳	応募		助成	
	件数	要望額(万円)	件数	助成額(万円)
大学等	54	5, 224	9	450
企 業	4	400	1	50
合 計	58	5, 624	10	500

⑥ 研究助成金交付先・研究テーマ及び助成金額 (別紙)

2. 人工知能に関する講演会、シンポジウム、セミナー等の開催

以下について、関係機関とも連携・協力を図り、開催形態として後援、協賛、協力、実行委員会組織等により実施し、事業の充実に努めた。

(1)講演会・研究助成金交付伝達式

◇「第27回人工知能研究発表講演会」

(併催:平成30年度第29回人工知能研究助成金交付伝達式)

・日 時 平成30年12月3日(月) 13:30~19:00

・会 場 今池ガスビル 7階 ダイアモンドルーム

- ① 平成30年度第29回人工知能研究助成金交付伝達式
- ② 平成30年度人工知能研究助成対象者による研究内容・目標の発表
- ③ 特別講演

タイトル:「人工知能との付き合い方」

講師:DeepZenGo プロジェクト 元代表 加藤 英樹 氏

- ④ 参加者数:講演会等 69名、交流会 42名

◇「第24回人工知能研究成果発表会」

・日 時 平成30年9月12日(水) 13:30~16:00

・会 場 今池ガスビル 7階 プラチナルーム

- ① 発表者 5名
- ② コーディネータ 名古屋工業大学 名誉教授 伊藤 英則 氏
- ③ 参加者数:47名

◇「第25回人工知能研究成果発表会」

・日 時 平成31年3月1日(金) 13:30～16:00

・会 場 今池ガスビル 7階 プラチナルーム

- ① 発表者 5名
- ② コーディネータ 名古屋工業大学 名誉教授 伊藤 英則 氏
- ③ 参加者数:52名

(2)実行委員会による事業

<ロボットシンポジウム2019名古屋>

テーマ : 「仲間にする、仲間になる AI・ロボット」

- ① 開催日時:平成31年2月6日(水)～7日(木)
(次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2019 と同時開催)
- ② 会 場:名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)
(名古屋市千種区吹上 2-6-3)
- ③ 主 催:ロボットシンポジウム2019名古屋実行委員会
構成団体:愛知県、名古屋市、(公財)栢森情報科学振興財団、
(公財)名古屋産業振興公社、(公財)人工知能研究振興財団、
ヒューマンロボットコンソーシアム
- ④ 後 援:経済産業省中部経済産業局、(一社)中部経済連合会、
名古屋商工会議所
- ⑤シンポジウム(講演)
《開催日 平成31年2月6日(水) 参加者数 123名》

【プログラム】

◆開会挨拶

ロボットシンポジウム2019名古屋実行委員会 委員長

ヒューマンロボットコンソーシアム 会長

名古屋大学・豊橋技術科学大学 名誉教授 稲垣 康善 氏

司会・コーディネータ : 名古屋工業大学 名誉教授 伊藤 英則 氏

◆基調講演

タイトル:「AI・ロボットとの共生社会のあり方を問う！」

講師:大阪大学大学院 教授

浅田 稔 氏

◆講演 1

タイトル:「共生インタラクション研究が導く人間とAIの新しい社会」

講師:名古屋大学大学院 教授

間瀬 健二 氏

◆講演 2

タイトル:「自動運転技術の民主化 ～ オープンソースが開く
次世代モビリティサービスの世界～」

講師:株式会社ティアフォー 代表取締役 武田 一哉 氏

◆講演 3

タイトル:「ロボット競技会を通じた技術力の革新的な加速
～人とロボットが協働する世界の実現に向けて～」

講師:玉川大学 教授 岡田 浩之 氏

⑥ロボット実演展示 (TECH Biz EXPO 来場者数 延べ10,518名)

《開催日 平成31年2月6日(水)～7日(木)》

ロボットメーカー、大学、研究機関及び地方自治体が各小間の展示ブースに、それぞれロボット技術や製品を展示し、技術交流と商談を行った。

3. 人工知能に関する情報の収集・提供

情報提供事業の効果的方法として、ホームページの内容充実と適宜改良を行った。また、機関紙(AI Information)については、1月に発行し、財団の運営及び事業実施状況の周知に努めた。

4. 人工知能に関する相談・指導

公益財団法人への移行を機に「人工知能に関する相談・指導」事業の実施体制の充実を図っているが、相談件数はまだわずかであり、引き続き事業の広報活動が必要とされる。

◇研究開発・事業化等 支援・協力機関

(順不同・法人組織名省略)

- ・名古屋大学 ・名古屋工業大学 ・豊橋技術科学大学 ・愛知県立大学
- ・愛知工業大学 ・大同大学 ・中京大学 ・中部大学 ・名城大学
- ・産業技術総合研究所 ・新エネルギー・産業技術総合開発機構
- ・経済産業研究所 ・人工知能学会
- ・あいち産業科学技術総合センター ・名古屋市工業研究所
- ・経済産業省中部経済産業局 ・愛知県 ・名古屋市
- ・中小企業基盤整備機構 ・名古屋商工会議所

II. 理事会の開催

第65回及び決議の省略による決議により、平成29年度事業報告及び収支決算並びに平成31年度事業計画及び収支予算等のほか、役員改選等に関する議案等について審議した。

1. 第65回理事会

(1)日 時 平成30年6月6日 9時30分～10時10分

(2)場 所 リンナイ株式会社 本社3階 第4応接室

(3)審議事項

(決議事項)

第1号議案 平成29年度事業報告及び計算書類等の承認を求める件

第2号議案 事業報告等に係る提出書類の承認を求める件

第3号議案 顧問の委嘱に関する件

第4号議案 審査委員の委嘱に関する件

第5号議案 事務局長選任の件

第6号議案 評議員会の決議並びに報告の省略についての決定を求める件

第7号議案 評議員会の決議並びに報告事項について承認を求める件

(決議事項)

第1号議案 平成29年度計算書類等の承認を求める件

第2号議案 理事の選任に関する件

第3号議案 監事の選任に関する件

第4号議案 評議員の選任に関する件

(報告事項)

(1)平成29年度事業報告の内容報告の件

(2)事務局長選任の件

第8号議案 「文書取扱及び稟議規程」の変更承認を求める件

(報告事項)

・職務執行状況報告の件

2. 臨時理事会(決議の省略による決議)

(1)決議あったものとみなされた日 平成30年6月26日

(2)提案事項

(決議事項)

第1号議案 代表理事(理事長)選定の件

第2号議案 業務執行理事及び専務理事選定の件

3. 第67回理事会

(1)日 時 平成31年3月11日(月) 15時00分～15時20分

(2)場 所 リンナイ株式会社 本社3階 第4応接室

(3)審議事項

(決議事項)

第1号議案 平成31年度事業計画(案)の承認を求める件

第2号議案 平成31年度収支予算(案)の承認を求める件

第3号議案 平成31年度資金調達及び設備投資の見込みの承認を求める件

第4号議案 「特定資産管理規程(案)」の承認を求める件

第5号議案 特定資産の一部取り崩しの承認を求める件

(報告事項)

・ 職務執行状況報告の件

III. 評議員会の開催

平成30年度定時評議員会により平成29年度事業報告、収支決算及び理事・監事・評議員の改選議案等について審議した。

1. 平成30年度定時評議員会(決議の省略による決議)

(1)決議あったものとみなされた日 平成30年6月26日

(2)提案事項

(決議事項)

第1号議案 平成29年度計算書類等の承認を求める件

第2号議案 理事の選任に関する件

第3号議案 監事の選任に関する件

第4号議案 評議員の選任に関する件

(報告事項)

(1) 平成29年度事業報告の内容報告の件

(2) 事務局長選任の件

IV. 公益財団法人移行後の財団運営及び人工知能研究振興等事業のあり方について

財団法人は、「出捐者から公的に付託された資金によりその設立目的の達成のため、社会全般を受益者として、継続的に公益目的事業を適正かつより効率的、効果的に行う。」ことが求められている。

こうした中で、極めて厳しい財政状況において、継続的に公益目的事業実施の維持・充実を図っていくための方策の一つとして、他公益法人への事業等引継ぎの検討等を行ってきたが、当財団関係及び関係先との合意形成には至らなかった。今後は、通常の事業を実施していく中で、財団の組織運営及び事業のあり方等について、引き続き業務運営委員会において検討をお願いすることとする。

平成30年度 人工知能研究振興財団 研究助成交付対象研究一覧表

No	氏名	研究テーマ	助成額 (千円)
1	東京大学 大学院工学系研究科 助教 早矢仕 晃章	データ流通社会に資するデータ連携知識基盤の創出	500
2	名古屋大学 情報基盤センター 助教 駒水 孝裕	グラフデータ分析のための特徴分析に関する研究開発	500
3	名古屋市工業研究所 システム技術部 電子技術研究室 研究員 長坂 洋輔	外観検査学習システムの精度を向上させる高品質疑似サンプル生成	500
4	名古屋工業大学 大学院工学研究科 准教授 中村 剛士	発達障害グレーゾーン児童教育支援のためのコミュニケーションロボット	500
5	沖縄工業高等専門学校 情報通信システム工学科 准教授 中平 勝也	画像認識と海中センシング情報に基づくダイビングサポートシステムの開発	500
6	社会医療法人 敬和会 理事長 岡 敬二 (研究者 佐藤 昇)	長時間記録型携帯心電計を用いた深層機械学習によるリアルタイム高精度仮想診断技術開発のための基礎研究	500
7	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 池田 和司	次世代脳型人工知能技術のための深層学習理論解析	500
8	東北大学 大学院情報科学研究科 准教授 鈴木 潤	処理過程の解釈/制御が可能な深層ニューラルネットによる自然言語理解/生成機構の構築	500
9	大阪府立大学 大学院工学研究科 准教授 岩村 雅一	深層学習における学習の阻害による学習の促進	500
10	明治大学 総合数理学部 ネットワークデザイン学科 准教授 櫻井 義尚	傾聴型カウンセリング AI の研究	500

・応募件数：58件（要望額計：5,624万円）

・助成件数：10件（助成額計：500万円）